

$$\int_{x_0}^{x_1} F(x, y, y', y'') dx$$

の形の汎関数に対する動きうる境界をもつ問題

汎関数，

$$v = \int_{x_0}^{x_1} F(x, y, y', y'') dx \dots \quad (1)$$

の極値の必要条件を決定するために，

$$y(x_0) = y_0, y'(x_0) = y'_0, y(x_1) = y_1, y'(x_1) = y'_1$$

という条件を必要とした．これらの中のいくつかが変化しうるとき，このような問題は変化しうる，あるいは動きうる境界をもつ問題 (*problem with variable or movable boundaries*) とよばれる．

(中略)

$$\left[F - y'F_{y'} - y''F_{y''} + y' \frac{d}{dx}(F_{y''}) \right]_{x=x_1} \delta x_1 + \left[F_{y'} - \frac{d}{dx}(F_{y''}) \right]_{x=x_1} \delta y_1 + [F_{y''}]_{x=x_1} \delta y'_1 = 0$$

(後略)

例題 汎関数，

$$v = \int_0^1 (1 + y''^2) dx$$

の極値を調べよ．ただし， $y(0) = 0, y'(0) = 1, y(1) = 1, y'(1) = \text{variable}$ とする．

解 オイラー・ポアソンの方程式は，

$$y^{(4)} = 0$$

となり，その一般解は，

$$y = C_1 x^3 + C_2 x^2 + C_3 x + C_4$$

となる．

与えられた境界条件から，

$$C_4 = 0, C_3 = 1, C_1 + C_2 = 0$$

$$[F_{y''}]_{x=1} = 0$$

$$\therefore y''(1) = 0$$

$$C_1 + 3C_2 = 0$$

$$\therefore C_1 = C_2 = 0$$

$$\therefore y = x$$

参考文献

[1] L.E.Els golc 瀬川富士訳 『科学者・技術者のための変分法 - 理工学海外名著シリーズ 11 - 』

(ブレイン図書出版，1972年)